

2006年第1回IJF女性コーチングセミナー報告書

2006年12月13日～15日、福岡県宗像市グローバルアリーナにおいて、IJF主催（全日本柔道連盟主管、IOCオリンピックソリダリティー・福岡柔道連盟・サニックス（株）九州電力協賛）の第1回女性コーチセミナーが開催されました。海外から約25名（IJF派遣各大陸4名4名、自費参加5名）、国内から約20名の女性トップコーチが参加しました。このセミナーは、女性コーチのレベルアップ、ネットワークの構築、女子柔道全体の問題点を提議、討論するなどを目的としました。セミナーの内容、詳細は以下の通りです。

<セミナープログラム>

日時	AM		PM		宿泊
12/12〔火〕	集合日	グローバルアリーナへチェックイン			GA
12/13〔水〕	09:30	オリエンテーション（武道場） （館内の説明）	14:30	パネルディスカッション及び討論（中会議室） 「女子柔道の今までの流れと今後の展望」	GA
	10:00	オープニング（武道場）	}	Clare Hargrave(NZL) Rusty Kanokogi (USA)	
	12:30	技術指導（武道場） 山下、阿武、田辺	17:30	Brigitt Dedye(FRA)	
	13:00	昼食	18:30	懇親会（パーティールーム）	
12/14（木）	9:30	指導法（講義）（中会議室） 柳沢久（三井住友海上監督） 山口香（元筑波大学監督） 溝口紀子（元フランスコーチ）	14:30	技術指導（武道場） 川口、中西、渡辺	GA
	12:30	各講義30分+質疑10分	17:30	夕食	
	13:00	昼食	18:30	ディスカッション（中会議室）（女子指導の特質） 科研が女子の体力、技術の特徴を挙げ話題提供	
	9:30	指導法講義（武道場） 吉村 技術指導 溝口・ピエラントッチ(IT)	14:30	フリートーク（中会議室）・・・女性指導者の現状、抱える問題などを言葉の合う人達でグループを作り、話し合う。	
12/15（金）	12:30	ヨーロッパスタイルの柔道	17:30	アンケートの実施	GA
	13:00	昼食	18:00	夕食及び交流会（レスティングルーム）	
	08:00	福岡市内へ移動	14:00	福岡国際女子柔道大会観戦	
12/16（土）		福岡国際女子柔道大会観戦		福岡国際女子柔道大会観戦	HI
12/17（日）		福岡国際女子柔道大会観戦		福岡国際女子柔道大会観戦 フェアウェルパーティー	HI
12/18（月）		帰国・解散			

GA:グローバルアリーナ：〒811-4153 福岡県宗像市大字吉留字高六46-1

TEL. (0940)33-8400 FAX. (0940)33-8419 <http://www.g-arena.com/>

第1日 午前

<オープニング>

- ・ 山下 I J F 教育コーチング理事スピーチ
- ・ クラウレ I J F 財務長スピーチ挨拶
- ・ スタッフ紹介
- ・ スケジュールの確認

<技術指導>

- ・ 山下氏 (I J F 教育コーチング理事)・・・崩しの重要性、両手を持って技を仕掛けることを強調し、大外刈、内股を指導。
- ・ 阿武氏 (アテネ五輪金メダル)・・・手の動かし方 (崩し)、組み方からの足技。
- ・ 田辺氏 (アトランタ五輪銀メダル)・・・大内刈の組み手と3方向への崩し、投げ。

第1日 午後

<パネルディスカッション>

パネラー：ハーグリーブ氏 (I J F 副会長)、ディディエ氏 (フランス柔道連盟技術委員長)、カノコギ氏 (第一回女子世界選手権開催責任者)

女子柔道のこれまでの歩み、現状、今後の発展についてそれぞれのパネラーから発言をいただいた。その後、参加者との質疑応答が活発に行われた。

<懇親会> I J F 関係者、参加者によって懇親会が行われた。パネルディスカッションの流れを受けて、ここでも活発な意見交換が行われた。

第2日 午前

<講義・指導法>

講師：柳沢氏 (三井住友海上監督)、山口氏 (筑波大学前女子監督)、溝口氏 (フランスナショナルチーム前コーチ)

柳沢氏からは企業チーム、山口氏からは大学チームの立場から指導方法について講義をいただいた。溝口氏はフランスナショナルチームの指導方法、特色を講義。その後、質疑応答が行われた。

第2日 午後

<技術指導>

川口氏 (アジア審判理事)・・・回しながらの内股、巴投
中西氏 (東海大学柔道部監督)・・・背負投の段階的な指導 (初心者から上級者)
渡辺氏 (金沢学院大学女子柔道部監督)・・・寝技の指導 (様々な体勢からの抑技)

<交流会及びディスカッション>

夕食後、行われた指導法や技術指導についてのディスカッション、日本人参加者の企画によるゲームなどが行われた。女子セミナーらしく和んだ雰囲気の中で交流が進んだ。

第3日 午前

<指導法講義>

吉村氏（前女子ヘッドコーチ、現強化委員長）

男子と女子の指導法の違い、アテネオリンピックで金メダル5個を獲った原動力と指導法について講義が行われた。

<技術指導>

溝口氏・・・フランスチームのウオーミングアップ、組み手、特徴的な技術を紹介、指導。

ピエラントッチ氏（1989、1991、66kg 世界チャンピオン）・・・内股の指導（ウオーミングアップを利用した足の上げ方、かけ方、ディフェンスまで）

第3日 午後

<フリーディスカッション>

ミッシェル・ブルース氏（IJF メディアコミッショナー）から、来年、ブラジル、リオでの世界選手権に先行して行われる IJF コンフェレンスにおいて、「女子柔道」と題してシンポジウムが行われる旨、報告された。

次に、島谷氏より日本の女子柔道の現状が報告された。その後、参加者からそれぞれの国の女子柔道の現状や問題点が発表された。また、セクシャルハラスメントの現状が問題提議され、これらの問題における IJF に対する要望書も作成された。その後、女子柔道について広い範囲で活発な意見交換、議論が展開された。

<閉講式>

すべてのプログラムが終了し、閉講式が行われ、参加者全員に受講終了証が与えられた。

<全体を通して>

参加者はどのプログラムに対しても非常に熱心かつ積極的でした。また、参加者たちの交流も盛んに行われ、それぞれのメールアドレスが交換され今後引き続いての交流も約束されました。

世界的な競技としての女子柔道が始まって約25年、選手の競技力向上は確実に進んできています。次の段階として指導者や審判の育成が望まれているなかで、第一回女性コーチセミナーが開かれたことは非常に意義深いことだと思われまます。今後、定期的にこういった活動が行われ、女子柔道が選手のみならず、指導者においても優れた人材を輩出していくことを期待したいと思います。

尚、今回行われたプログラムの中で技術指導を中心に撮影されたDVDが参加者に渡されました。

IJF 教育コーチング理事山下氏の発案で行われた初の女性コーチセミナーでしたが、計画、実行においては、IJF 関係者のみならず、全日本柔道連盟、グローバルアリーナ、九州電力など多くの関係各位にご尽力、ご協力をいただきました。この場をお借りして関係各位に深く感謝し、お礼申し上げます。

セミナー実行スタッフ

山口 香（国際副委員長・女子強化委員）